

5G・V2Xの最新動向を学ぶオンライン講演会を開催

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、令和2年10月7日（水）、北陸情報通信協議会及びICT研究開発機能連携推進会議との共催により、「5G・V2Xオンライン講演会」を開催しました。

この講演会は、私たちの生活に密接に関係する5G※1・V2X※2技術によるコネクテッドカーや自動運転社会の実現に向けた総務省の取組及びローカル5Gの最新動向を聴講して今後を展望するため開催したものです。

当日は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、東京の総務省内と北陸総合通信局会議室を結び、講演をYouTube Liveによりオンライン配信する方法で実施し、約60名が聴講しました。

テーマを「自動運転の実現及びローカル5Gの展開に向けた総務省の取組」として、総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室 江原 真一郎課長補佐が講演を行いました。

はじめに、自動運転の実現に関係省庁が連携して取り組んでいる状況や、今後の進化イメージについて説明がありました。

続いて、V2Xを使うコネクテッドカーの事例や、総務省が取り組む無線技術に係る制度整備や国際標準化などの施策、次世代V2Xに必要な5.9GHz帯周波数の供用検討の技術試験や、国際的なV2X技術の導入傾向を踏まえた検討が行われるとの紹介がありました。

最後に、ローカル5G導入の現状について、実証実験の事例、制度化と申請の状況、今後の導入にあたる屋内屋外利用の共用条件の制約や広域利用の取扱い等を紹介し、各地域の課題に合う利活用があれば積極的に申請をしてほしいと要請し、講演を締めくくりました。



総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課
新世代移動通信システム推進室
課長補佐 江原 真一郎



北陸総合通信局会議室の様子

※1 5G：5th Generationの略。第5世代移動通信システム。

※2 V2X：Vehicle-to-everythingの略。

車と何か（あらゆるもの）が通信して連携すること。